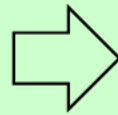


退職後に経験を活かし、水稻や大豆栽培の経営にチャレンジ ～（農）大地・西荒井～

経営体の概要

営農組織設立前：平成19年
基幹作物：水稻、大豆
経営面積：15.8ha



現在：平成29年
基幹作物：水稻、大豆
経営面積：25.1ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成19年に西荒井上営農組合を結成した後、平成27年2月には営農組合員29名中6名が構成員となり法人を設立した。構成員の多くは、農家の後継者で他産業に従事した後、当法人で活動している。ほ場整備事業や農家の高齢化等に伴い、地域の農地の集約化が進み、経営規模を拡大し、農業の担い手として地域農業の継続に取り組んでいる。

営農改善のポイント

①担い手の育成・確保

構成員はもともと兼業農家で、退職後に農業法人の専従となっている。今後は、規模拡大と経営の安定を図り、地域の兼業農家の退職組や意欲ある若手の後継者等を見込んでいる。

地域農業の担い手として、将来的には集落全体（45ha）の農地集積を目指している。

②栽培技術

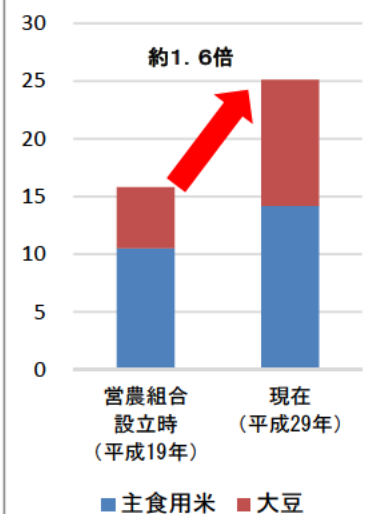
水稻は、大豆転作後の復田が最大の課題となっており、「倒伏防止対策」の徹底を図っている。また、2年目となる水稻の湛水直播栽培（5.2ha）は、大豆後の水田で肥料会社や宮城県・JAと連携しながら栽培技術の向上に努める（目標平均収量は8.5俵以上）。

③省力化

経営面積の約95%は中間管理機構を通して借り受け、経営規模を拡大。地域の農地を借り受けし規模拡大を図っている。

パイプライン化により水管理が容易となり兼業農家に加え、女性や高齢者が生涯現役として農業ができるようになった。

(ha) 作付面積の変化



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：大崎市、美里町、加美町
受益面積：4,621ha
事業期間：昭和62年～平成17年
事業目的：用水改良、排水改良、区画整理
主要工事：頭首工4箇所、排水機場1箇所
用水路L=20.2km、排水路L=0.4km

位置図（宮城県）



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
電話：022-263-1111
(内線4460)

(平成29年度調査時点)